

「最上小国川流域の治水対策等に関する協議（第3回）」協議概要

1 日時：平成26年4月29日（火） 午後1時30分～午後3時58分

2 場所：山形県農業大学校 緑風館（第1・2研修室）

3 協議メンバー

最上小国川流域産地協議会：会長（座長）

小国川漁業協同組合：組合長、副組合長 ほか

山形県：農林水産部長、県土整備部長、最上総合支庁長 ほか

最上町：最上町長、町議会議長、町議会産業厚生委員長

舟形町：舟形町長、町議会議長、町議会総務振興常任委員長

赤倉温泉地区：町内会長、副会長、三之丞社長

4 協議概要

（1）最上小国川の治水対策検討における有識者の関わり及び漁業権更新の手続きを県が説明した。

- ・ 流水型ダムにおける有識者の関与について【説明資料 p1～2】

（2）前回漁協から出された質問や他のダムの状況等について県が説明した。

- ・ 穴詰まり対策について【説明資料 p3～4】
- ・ 工事中の濁水処理について【説明資料 p5】
- ・ 赤倉地区の内水被害対策について【説明資料 p6】

（3）最上小国川流域振興に関する提案について県が説明した。

- ・ 最上小国川流域振興について【説明資料 p7～10】

（4）県からの説明や提案に対する漁協の考え方を聴き、協議メンバーにより意見交換を行った。

県が最上小国川ダムによる治水対策と内水面漁業振興の両立を目指した提案を行ったことに対し、漁協は理事会、総代会に諮り回答する旨の返事を行った。

なお、「最上小国川流域の治水対策等に関する協議」は、今回で最後とすることとなった。

以上